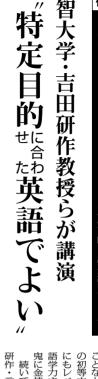
教日 研私 上智大学・吉田研作教授らが講演 おける「CAN―DOリスト国語教育「CAN―





研修会に参加できなかった人もおり、英語教育改革に対する関心の高さを窺わせる研修となった。

を設定することの意味 とする』 ~ CAN - DO は英語で行うことを基本

と題して講演した。

吉田教授は、同省が今

際共通語としての英語力 ど英語に関するコンテス

研修会には全国から約三百人の私立中学高等学校関係者が詰め掛けた。会場の収容人員の関係から 育における『CAN - DOリスト』の形での学習到達目標設定に関する緊急説明会」を開催した。 本私学教育研究所(吉田晋理事長、中川武夫所長)は、五月二十五日、東京・市ヶ谷で「外国語教 英語検定試験の積極的活用が政府の有識者会議等から相次いで提言されているが、一般財団法人日

経済のグローバル化に対応した教育が求められる中で、英語教育の見直し、特にTOEFLなど

教育局国際課外国語教育

この日は、文部科学省 その中では、一九九○年 によると、⊕生徒に求め 効果的に活用し、生徒が 達目標設定のための手引 た。TOEFL等の積極 英語力にも大きな進歩が

推進 室長が、「小中高等 本が二〇一二年には五十 ためCAN‐DOリスト 定試験の受験を促すなど 学で学習・研究する際に 党の教育再生実行本部で 成績は最下層で、ビジネ の田渕エルガ・初等中等 代に世界競争ランキング られる英語力の達成状況 英語を使う機会を増やす き」を作成した検討会議 的活用を提言した政府の みられないこと、TOF 九カ国中二十七位に低 を作成・公表したこと、 (IMD)一位だった日 を把握・検証する。その ④米国への派遣や外部検 の座長で、ここ数年は大 教育再生実行会議や自民 FLibtでも日本人の 英語教員の英語力・指導 必要とされるアカデミッ も、国産のテストへの期 ス英語力でも韓国に水を

月に報告したもの。それ と③ALT、ICT等を リスト』の形での学習到 協会と共同開発してき 三割にとどまり、教員の

全私学新聞 2275号 (平成25年6月13日)

「TEAP」 (Test of 語教育がなされてきた

向上に必要な五つの提言 トへの生徒の参加を推進 年三月に公表した「各中 English for Acade が、中学校卒で英検三級

を紹介した。これは文科 するなど英語学習のモチ ・高等学校の外国語教育 mic Purposes) を公 取得、高校卒で同二級取

省の検討会議が一昨年六 ベーション向上を図るこ における『CAN-DO 益財団法人日本英語検定 得という目標の達成率け

一力を強化すること⑤グロ クな場面での英語運用力 待の声も聞かれ、その あけられていること、 (英語で資料や文献を読 際、TEAPが取り上げ 校生の意識調査で語学の

吉田教授は、講演の中 が、英語を生かした仕事

の形で設定することにつ 学入試になるよう改善を む、英語で講義を受け られた。

「CAN-DOリスト」 ーバル社会に対応した大

る施策等を説明したが、 報告した。その上で、国 大会やディベート大会な - また、語学力向上等に ど)を測定するテスト る日本人育成を目標に英 信の無さが明らかになっ る、英語で文章を書くな で、これまで英語が使え には就きたくないなど自

そうした取り組みを続け が重要で、教員研修もア FAPを開発したことな てきたことが日本の英語 ジアの教員との合同研修 どを説明した。

引き上げられるのは全体 ならこういうことができ ラル試験がなく、きちん ればいいとする英語教育 と英語力が測れるようT

をネイティブレベルまで よく、例えば中学二年生 あれでは不十分で、オー

/ンネイティブが英語力 合わせた英語ができれば ストが行われているが、 その上で世界的にみて から離れて、特定目的に ター試験でリスニングテ ていることなどを指摘し 教育がうまくいかなかっ の方が学び合えると語っ

た理由で、そうしたこと た。また、大学入試セン

状況や文科省が進めてい が続いていることなどを していること②スピーチ 説明した。 中で、英語教育をめぐる 日本人の留学者数も減少 いては今後、検討予定と 図る―などのポイントを る、英語で 意見を述べ ル人材育成が求められる
五十八位という状況で、 育」と題して講演した。 下、特に外国語のスキル 国として学習到達目標を

田渕室長は、グローバ に関しては、五十九位中